



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 三信建設工業株式会社
コード番号 1984 URL <http://www.sanshin-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大沢 一実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 関和 一郎

四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5825-3700

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,630	△14.3	285	△2.0	350	9.1	224	8.2
28年3月期第3四半期	7,739	—	290	—	320	—	207	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 278百万円 (37.7%) 28年3月期第3四半期 202百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	23.32	—
28年3月期第3四半期	21.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	8,881	5,735	64.6
28年3月期	8,877	5,543	62.4

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 5,735百万円 28年3月期 5,543百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	8.00	8.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当5円00銭 記念配当5円00銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△2.0	300	△47.2	350	△38.9	250	△28.9	25.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	10,000,000 株	28年3月期	10,000,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	386,354 株	28年3月期	351,254 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	9,621,446 株	28年3月期3Q	9,649,137 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策及び日銀による金融政策等により雇用情勢や所得環境に改善が見られ国内景気は緩やかな回復基調が続いているものの、英国のEU離脱問題並びに米国の新政権誕生による政策動向の影響等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの場合は、主として地盤注工、アンカー・斜面安定工、地盤改良工等の地盤関連技術の専門工事に特化し、V-JET、グランドフレックスモール、CPGガイドアーク、ハイスペックネイリングなどの時代のニーズに合った新技術の開発及び改良を行い、また固有の技術力の向上を図りつつ相応した事業規模で「選択と集中」を基本戦略として堅実に経営を続けております。更に、CPG、WILL、MITS、トンネル裏込注入などが国土の復旧・復興及び震災対策並びに国土強靱化に伴うインフラ整備に貢献するとともに、受注工事高、完成工事高及び利益等の事業計画達成に全力を挙げて取り組んでおります。

受注工事高につきましては、海外工事の受注工事高が減少したことにより80億45百万円(前年同四半期比14.0%減)となりました。

完成工事高につきましては、海外工事の受注工事高の減少及び当第3四半期連結累計期間の受注工事高のうち大型工事の発注時期の遅れに伴う施工遅れにより66億30百万円(前年同四半期比14.3%減)となりました。

利益面につきましては、完成工事高が減少したものの徹底した施工管理により工事利益率が上昇したことにより、営業利益は2億85百万円(前年同四半期比2.0%減)となりました。また、為替相場が円安へ推移したことによる為替差益の計上により、経常利益は3億50百万円(前年同四半期比9.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億24百万円(前年同四半期比8.2%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(東日本事業グループ)

地盤注工、地盤改良工を主とした土木工事から構成され、セグメント売上高は40億36百万円(前年同四半期比10.2%減)となり、セグメント利益は4億68百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。

(中日本事業グループ)

地盤注工、アンカー・斜面安定工を主とした土木工事から構成され、セグメント売上高は15億36百万円(前年同四半期比19.4%増)となり、セグメント利益は89百万円(前年同四半期比949.7%増)となりました。

(西日本事業グループ)

地盤改良工、アンカー・斜面安定工を主とした土木工事から構成され、セグメント売上高は6億17百万円(前年同四半期比22.6%増)となり、セグメント利益は49百万円(前年同四半期は30百万円のセグメント損失)となりました。

(海外事業グループ)

地盤注工、地盤改良工を主とした土木工事から構成され、セグメント売上高は2億41百万円(前年同四半期比78.4%減)となり、セグメント損失は49百万円(前年同四半期は41百万円のセグメント利益)となりました。

(子会社)

建設用資機材販売及び受取特許料から構成され、セグメント売上高は3億13百万円(前年同四半期比13.1%減)となり、セグメント利益は26百万円(前年同四半期比48.6%減)となりました。

(その他)

建設用資機材販売及び受取特許料から構成され、セグメント売上高は90百万円(前年同四半期比65.4%増)となり、セグメント利益は84百万円(前年同四半期比93.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産につきましては、88億81百万円であり、前連結会計年度末に比べ3百万円の増加となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等、建物・構築物及び土地が減少したものの投資有価証券、機械・運搬具が増加したことによるものであります。

総負債につきましては、31億45百万円であり、前連結会計年度末に比べ1億88百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形・工事未払金等及び未払法人税等の減少によるものであります。

純資産につきましては、57億35百万円であり、前連結会計年度末に比べ1億91百万円の増加となりました。自己資本比率は64.6%(前連結会計年度末は62.4%)となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました「平成28年3月期決算短信[日本基準](連結)」でお知らせした業績予想について変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	2,986,872	2,559,131
受取手形・完成工事未収入金等	2,995,515	2,804,615
未成工事支出金	1,537	1,515
繰延税金資産	50,323	16,483
その他	51,861	74,455
貸倒引当金	△593	△594
流動資産合計	6,085,516	5,455,606
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	137,095	67,020
機械・運搬具(純額)	584,507	712,045
土地	228,047	173,963
その他(純額)	44,913	54,894
有形固定資産合計	994,564	1,007,924
無形固定資産		
投資その他の資産	12,732	11,001
投資有価証券	1,656,378	2,314,042
繰延税金資産	32,808	-
その他	99,796	96,372
貸倒引当金	△3,902	△3,701
投資その他の資産合計	1,785,082	2,406,713
固定資産合計	2,792,378	3,425,639
資産合計	8,877,895	8,881,246
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,294,375	2,203,006
短期借入金	500,000	500,000
未払金	142,957	129,495
未払法人税等	129,815	23,265
未成工事受入金	1,602	16,482
完成工事補償引当金	1,000	1,000
賞与引当金	93,426	18,975
その他	106,401	152,328
流動負債合計	3,269,579	3,044,554
固定負債		
繰延税金負債	-	32,607
役員退職慰労引当金	57,890	57,890
退職給付に係る負債	2,823	2,823
その他	4,035	7,876
固定負債合計	64,749	101,197
負債合計	3,334,328	3,145,751

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	904,753	904,753
利益剰余金	4,002,782	4,149,918
自己株式	△51,536	△60,885
株主資本合計	5,355,999	5,493,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,567	241,708
その他の包括利益累計額合計	187,567	241,708
非支配株主持分	-	-
純資産合計	5,543,567	5,735,495
負債純資産合計	8,877,895	8,881,246

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高		
完成工事高	7,739,733	6,630,940
売上高合計	7,739,733	6,630,940
売上原価		
完成工事原価	6,717,292	5,589,598
売上原価合計	6,717,292	5,589,598
売上総利益		
完成工事総利益	1,022,440	1,041,342
売上総利益合計	1,022,440	1,041,342
販売費及び一般管理費	731,679	756,333
営業利益	290,761	285,009
営業外収益		
受取利息	8,737	9,005
受取配当金	23,195	27,105
為替差益	-	23,070
その他	26,294	8,939
営業外収益合計	58,226	68,121
営業外費用		
支払利息	2,975	2,178
為替差損	23,265	-
その他	1,761	805
営業外費用合計	28,002	2,984
経常利益	320,985	350,146
特別利益		
固定資産売却益	750	-
その他	-	1,466
特別利益合計	750	1,466
特別損失		
その他	413	1,107
特別損失合計	413	1,107
税金等調整前四半期純利益	321,321	350,505
法人税、住民税及び事業税	52,257	37,399
法人税等還付税額	△6,388	-
法人税等調整額	68,184	88,780
法人税等合計	114,052	126,179
四半期純利益	207,268	224,326
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	207,268	224,326

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	207,268	224,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,973	54,140
その他の包括利益合計	△4,973	54,140
四半期包括利益	202,294	278,466
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,294	278,466
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	東日本 事業 グループ	中日本 事業 グループ	西日本 事業 グループ	海外 事業 グループ	子会社	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	4,492,961	1,286,976	503,687	1,119,090	293,116	7,695,832	43,900	7,739,733	—	7,739,733
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	—	—	67,360	67,360	10,628	77,989	△77,989	—
計	4,492,961	1,286,976	503,687	1,119,090	360,477	7,763,193	54,529	7,817,722	△77,989	7,739,733
セグメント 利益又は 損失(△)	471,269	8,492	△30,963	41,203	51,883	541,886	43,745	585,631	△294,870	290,761

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術本部等を含めて記載しております。

2. セグメント利益の調整額△294,870千円には、主に社内損料として計算した減価償却費・機械等修繕費と四半期連結損益計算書計上額との差額106,089千円、賞与引当金取崩額と繰入額との差額53,145千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△450,972千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	東日本 事業 グループ	中日本 事業 グループ	西日本 事業 グループ	海外 事業 グループ	子会社	計				
売上高										
外部顧客 への売上 高	4,036,509	1,536,879	617,336	241,587	158,070	6,590,383	40,556	6,630,940	—	6,630,940
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	—	—	155,236	155,236	49,621	204,858	△204,858	—
計	4,036,509	1,536,879	617,336	241,587	313,307	6,745,620	90,178	6,835,799	△204,858	6,630,940
セグメント 利益又は 損失(△)	468,121	89,150	49,705	△49,343	26,671	584,305	84,765	669,070	△384,061	285,009

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術本部等を含めて記載しております。

2. セグメント利益の調整額△384,061千円には、主に社内損料として計算した減価償却費・機械等修繕費と四半期連結損益計算書計上額との差額49,664千円、賞与引当金取崩額と繰入額との差額37,203千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△472,746千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、一部の意思決定単位の変更に伴い事業セグメントの区分方法を見直し、従来の報告セグメントであった「名古屋支店」と「その他」に含まれていた「関西支店」を「中日本事業グループ」に変更しております。

また、従来「その他」に含まれていた「西日本事業グループ」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。